

人への伝え方～相手に合わせた伝え方を考えよう～募集要項

野生生物と人との軋轢は、獣害問題、外来種問題、生息地悪化の問題など多岐に及んでおり、解決すべき問題は今後も多様化していく可能性があります。さらに、軋轢が起こっている地域や種、そこに暮らす地域性などが異なることから、問題解決のためのマニュアルを作成することは困難です。そのため、その地域の住民や行政、企業、研究教育機関などがそれぞれの立場から問題に取り組み、複合的な視点から解決策を検討していくことが今後より必要になると思われます。

しかし、ステークホルダーが増えることにより意見の調整や方針の統一が困難になるだけでなく、情報の間違った伝達や誤解を与える発言によって問題解決が円滑に進まないといった問題が生じる恐れがあることから、自分の意見を相手に適切に伝え、正確な情報や考え方を理解してもらえかが重要な観点となります。

帯広畜産大学農業共生圏高度専門家育成事業では、協働による野生生物と人との軋轢の軽減、解消を推進することを目的に、野生生物対策をテーマに「人に伝える」重要性とその事例について講習会を開催します。

なお、この講習会は、帯広畜産大学の学生も受講を予定しています。受講生の皆様と共に学ぶことで、学生の就職観の醸成と関連業態への理解がより深まることを期待しています。

対象者

- ・地域住民に獣害や外来種問題を理解し、取り組んでももらいたいと考えている行政機関担当者の方
(農林課・環境生活課等の担当者、学芸員、動物園・博物館スタッフなど)
- ・発注者などに調査目的や保全対策手法などを的確に伝えたいと悩んでいる民間企業等の担当者の方
- ・そのほか、野生生物問題で「伝える」ことに悩んでいる方

1. 開催日：令和4年1月7日（金）

2. 開催場所：Zoomによるオンライン実施

3. 募集人数：20名（先着）※学生は別途5名

4. 講師：NPO法人 お一でらす 代表理事 今野 万里子 氏

2016年福島県会津地方で『人も自然もイキイキと』をコンセプトにした鳥獣害対策支援を専門にNPO法人を設立、代表理事を務める。

設立当初から市町村が集落に対して行う鳥獣害対策の支援等を行ってきた。

近年は、専門的な人材を渴望する機運が高まり、福島県と協働して県内で活

躍する鳥獣被害対策専門員の育成を行う。

5. 開催内容：

13：00 受付開始

13：30 開講、アイスブレイク

14：00 講義「福島県における獣害防除のための“地域協働”の取り組み」

講師が福島県で取り組んでいる事例を基に、獣害防除において不可欠である“地域協働”を行政、住民とどのように進めていくべきか、「伝え方・伝えること」の重要性を交えてご紹介します。

14：40 ワークショップ「地域住民がやる気になる・やりたくなる被害対策の進め方」

①やる気をおこす伝え方

②行動につながる伝え方

をテーマにグループでワークショップを行ないます。

16：30 閉講

6. CPD 認定： 希望される方には一般社団法人建設コンサルタント協会 CPD 認定プログラム受講証明書を発行します。

7. 受講料： 無料

※データ通信料は各自ご負担ください。

8. 申込方法： 右の二次元バーコード又は下記URLの申し込みフォームからお申込み下さい。

URL：https://www.obihiro.ac.jp/r3_wildlifecollabo

※申し込みフォームからのお申込みができない場合は、申込書データをお送りいたしますので、下記事務局へご連絡ください。



9. 募集期間： 令和3年11月19日（金）～12月17日（金）

10. その他： ・本講習会は座学で実施しますので、パソコンのカメラ・マイク・スピーカー機能が必要となります。
・受講にあたっての注意事項等は受講決定通知と併せてご連絡いたします。

11. 事務局： 帯広畜産大学 国際・地域連携課

電話：0155-49-5776 メール：wildlife@obihiro.ac.jp

【個人情報の取扱いについて】

- (1) 国立大学法人帯広畜産大学が保有する個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人帯広畜産大学保有個人情報管理規程」に基づき、保護に万全を期しています。
- (2) 応募時にお知らせいただいた氏名、住所等の個人情報については、受講者選抜、受講に関する連絡など本講習会に関する業務を行うためにのみ利用します。